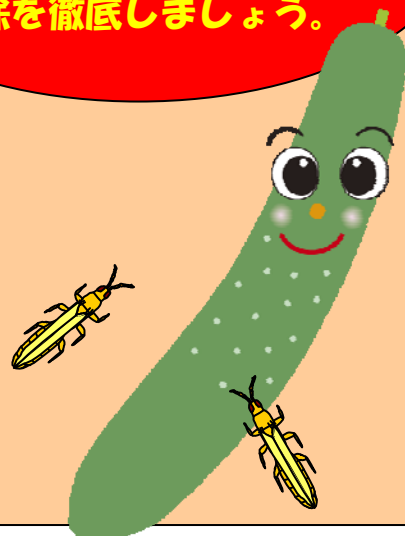


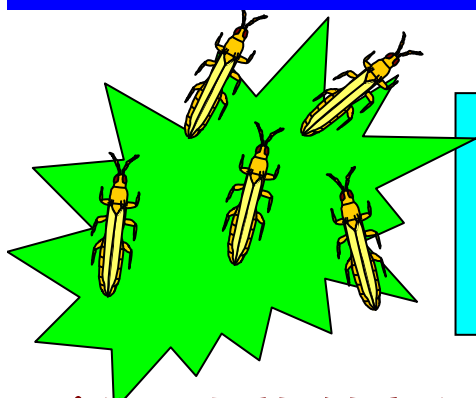
被害が増えてます！

本虫は、  
キュウリ黄化えそ病の  
病原ウイルス（MYSV）を  
媒介するので、  
防除を徹底しましょう。

きゅうりの  
アザミウマ防除を  
心がけましょう。



ミナミキイロアザミウマは  
他のアザミウマと比較して 薬剤に対して強いので、  
かけむらのないようていねいに散布しましょう。



系統の異なる剤をローテーションで  
1週間間隔で2～3回繰り返すと効果的です。

### 主なきゅうりミナミキイロアザミウマ防除剤

平成26年1月29日現在

系統	薬剤名	効果	移行性	速効性	残効性	使用基準
ネオニコチノイド	モスピラン顆粒水溶剤	○～◎	◎	○	◎	2000～4000倍 (前日/3回以内)
マクロライド	アフーム乳剤	○～◎	○	◎	△	2000倍 (前日/2回以内)
スピノシン	ディアナSC	◎	○	◎	○	2500～5000倍 (前日/2回以内)
プロペニルオキシフェニル	ブレオフロアブル	◎	×	○	◎	1000倍 (前日/2回以内)

農薬の使用にあたってはラベルの表示事項を守りましょう。